nikko am
Nikko Asset Management

欧州社債ファンド Aコース（為替ヘッジあり）〈愛称 グラン・マルシェ〉

運用報告書（全体版）

第28期（決算日　2016年12月15日）第30期（決算日　2017年２月15日）第32期（決算日　2017年４月17日）
第29期（決算日　2017年１月16日）第31期（決算日　2017年３月15日）第33期（決算日　2017年５月15日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申しあげます。
「欧州社債ファンド Aコース（為替ヘッジあり）」は、2017年５月15日に第33期の決算を行ないましたので、第28期から第33期の運用状況をまとめてご報告申しあげます。
今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申しあげます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券
信託期間	2014年８月19日から2029年５月15日までです。
運用方針	主として、欧州企業が発行する社債を主要投資対象とする投資信託証券（投資信託または外国投資信託の受益証券（振替投資信託受益権を含みます。）および投資法人または外国投資法人の投資証券をいいます。）の一部、またはすべてに投資を行ない、インカム収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要運用対象	「ヨーロピアン・ストラテジック・コーポレート・ボンド・ファンド クラスＡ」受益証券 「マネー・アカウント・マザーファンド」受益証券 上記の投資信託証券を主要投資対象とします。
組入制限	投資信託証券、短期社債等、コマーシャル・ペーパーおよび指定金銭信託以外の有価証券への直接投資は行ないません。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	毎決算時、原則として分配対象額のなかから、基準価額水準、市況動向などを勘案して分配を行なう方針です。 ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行なわないこともあります。

＜642460＞

日興アセットマネジメント株式会社
東京都港区赤坂九丁目７番１号
http://www.nikkoam.com/

当運用報告書に関するお問い合わせ先
コールセンター　電話番号：0120-25-1404
午前９時～午後５時　土、日、祝・休日は除きます。
●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

【運用報告書の表記について】
・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○最近30期の運用実績

決算期	基準価額			債券組入比率	投資信託証券組入比率	純資産総額
	(分配落)	税込み分配金	期中騰落率			
	円	円	%	%	%	百万円
4期(2014年12月15日)	9,817	40	0.7	0.1	97.0	1,472
5期(2015年1月15日)	9,842	40	0.7	0.1	96.0	1,560
6期(2015年2月16日)	9,955	40	1.6	0.1	97.7	1,550
7期(2015年3月16日)	10,027	40	1.1	0.1	98.6	1,397
8期(2015年4月15日)	10,014	40	0.3	0.1	96.2	1,687
9期(2015年5月15日)	9,859	40	△1.1	0.1	97.0	1,770
10期(2015年6月15日)	9,765	40	△0.5	0.1	101.5	1,722
11期(2015年7月15日)	9,678	40	△0.5	0.1	97.0	1,744
12期(2015年8月17日)	9,688	40	0.5	0.1	96.7	1,631
13期(2015年9月15日)	9,609	40	△0.4	0.1	92.6	1,425
14期(2015年10月15日)	9,509	40	△0.6	0.1	97.0	1,350
15期(2015年11月16日)	9,527	40	0.6	0.1	95.8	1,279
16期(2015年12月15日)	9,461	40	△0.3	0.1	97.4	1,053
17期(2016年1月15日)	9,344	40	△0.8	0.1	96.7	1,020
18期(2016年2月15日)	9,029	40	△2.9	0.1	96.9	938
19期(2016年3月15日)	9,345	40	3.9	0.1	97.0	913
20期(2016年4月15日)	9,368	40	0.7	－	96.9	911
21期(2016年5月16日)	9,382	40	0.6	－	97.0	849
22期(2016年6月15日)	9,386	40	0.5	－	98.1	802
23期(2016年7月15日)	9,401	40	0.6	－	95.2	708
24期(2016年8月15日)	9,631	40	2.9	－	97.0	805
25期(2016年9月15日)	9,592	40	0.0	－	136.5	625
26期(2016年10月17日)	9,510	40	△0.4	－	97.0	991
27期(2016年11月15日)	9,373	40	△1.0	－	96.9	835
28期(2016年12月15日)	9,424	40	1.0	－	97.0	819
29期(2017年1月16日)	9,476	40	1.0	－	96.0	550
30期(2017年2月15日)	9,521	40	0.9	－	96.5	487
31期(2017年3月15日)	9,525	40	0.5	－	96.4	426
32期(2017年4月17日)	9,579	40	1.0	－	97.0	399
33期(2017年5月15日)	9,717	40	1.9	－	97.0	360

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。
(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。
(注) ファンドの商品性格に適合する適切なベンチマークおよび参考指数はございません。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

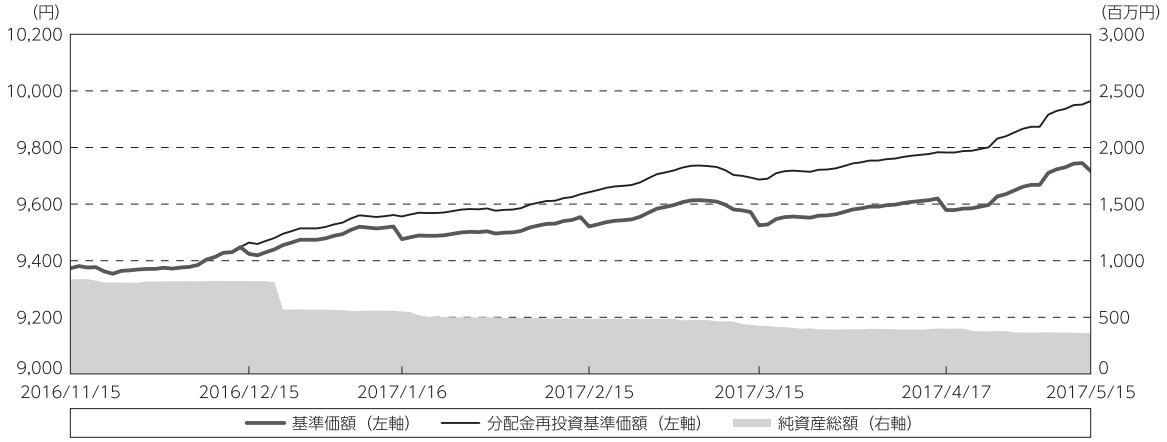
決算期	年月日	基準価額		債券組入比率	投資信託証券組入比率
			騰落率		
	（期　首）	円	%	%	%
	2016年11月15日	9,373	－	－	96.9
第28期	11月末	9,371	△0.0	－	97.0
	（期　末）				
	2016年12月15日	9,464	1.0	－	97.0
	（期　首）				
	2016年12月15日	9,424	－	－	97.0
第29期	12月末	9,488	0.7	－	97.0
	（期　末）				
	2017年１月16日	9,516	1.0	－	96.0
	（期　首）				
	2017年１月16日	9,476	－	－	96.0
第30期	１月末	9,496	0.2	－	95.8
	（期　末）				
	2017年２月15日	9,561	0.9	－	96.5
	（期　首）				
	2017年２月15日	9,521	－	－	96.5
第31期	２月末	9,590	0.7	－	96.8
	（期　末）				
	2017年３月15日	9,565	0.5	－	96.4
	（期　首）				
	2017年３月15日	9,525	－	－	96.4
第32期	３月末	9,581	0.6	－	97.0
	（期　末）				
	2017年４月17日	9,619	1.0	－	97.0
	（期　首）				
	2017年４月17日	9,579	－	－	97.0
第33期	４月末	9,661	0.9	－	97.0
	（期　末）				
	2017年５月15日	9,757	1.9	－	97.0

（注）期末の基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。
（注）当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。

○運用経過

（2016年11月16日～2017年５月15日）

作成期間中の基準価額等の推移



第28期首：9,373円
第33期末：9,717円（既払分配金(税込み)：240円）
騰 落 率：　6.3%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。
（注）分配金再投資基準価額は、作成期首（2016年11月15日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
（注）上記騰落率は、小数点以下第２位を四捨五入して表示しております。
（注）当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として、欧州企業が発行する社債を主要投資対象とする投資信託証券に投資を行ない、インカム収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行なっております。当作成期間中における基準価額の主な変動要因は、以下の通りです。

＜値上がり要因＞
・投資先債券からのインカム収入を得たこと。
・欧州中央銀行（ＥＣＢ）やイングランド銀行（ＢＯＥ）の債券購入などを背景として、欧州債券利回りおよび信用スプレッド（利回り格差）に対する低下（債券価格は上昇）・縮小圧力が掛かったこと。
・好調な業績や格付けの引き上げなどを受けて投資先債券の価格が上昇したこと。

＜値下がり要因＞
・発行体の業界環境や業績見通しの悪化などを背景に、投資先債券の一部の信用スプレッドが拡大したこと。
・米国や欧州の国債利回りの上昇を受けて社債利回りが上昇（債券価格は下落）したこと。
・マクロ経済指標の悪化などを受けて社債市場が下落したこと。

投資環境

（欧州債券市況）
期間中の欧州社債市場に影響を与えた主な要因は以下の通りです。
・ユーロ圏の国内総生産（ＧＤＰ）成長率が安定的だったことに加えて、国際機関などにより成長率予想が上方修正されるなど見通しも良好だったこと。
・英国の欧州連合（ＥＵ）離脱決定後も、英国経済が底堅さを維持したこと。
・ＥＣＢによる債券購入額が前期間と比較して縮小したものの、依然として主要な買い勢力であることに変わりはなく、引き続き信用スプレッドの縮小圧力となったこと。
・ＥＵ主要加盟国での国政選挙が、市場が期待していた望ましい結果となり、主要国で強固な保護主義政策が採られるとの懸念が後退したこと。

期間中の欧州社債市場は、上述の通り、市場を取り巻く環境が総じて良好ななか、堅調なパフォーマンスとなりました。債券の種別では、ハイ・イールド社債が高いパフォーマンスとなりました。

（国内短期金利市況）
無担保コール翌日物金利は、期間の初めの－0.05%近辺から、日銀によるマイナス金利政策の下でコール市場でもマイナス圏での取引が続き、－0.03%近辺で期間末を迎えました。
国庫短期証券（ＴＢ）３ヵ月物金利は、期間の初めの－0.28%近辺から、日銀による国債買入れの継続や追加の金融緩和観測などを受けてマイナス圏での推移が続き、－0.13%近辺で期間末を迎えました。

当ファンドのポートフォリオ

（当ファンド）
当ファンドは、収益性を追求するため、「ヨーロピアン・ストラテジック・コーポレート・ボンド・ファンド クラスＡ」受益証券を高位に組み入れ、「マネー・アカウント・マザーファンド」受益証券への投資を抑制しました。

（ヨーロピアン・ストラテジック・コーポレート・ボンド・ファンド クラスＡ）
セクター別では、欧州債券市場で大きな割合を占める金融セクターの組入比率を引き続き最大としました。また、資本財セクターや通信・メディア・テクノロジーといったセクターの組入れも高めとしました。
期間中の主な投資行動としては、ハイブリッド社債の大幅な価格上昇を受けて、エネルギーセクターやヘルスケアセクターなどにおける保有銘柄を売却し、利益を確定しました。

（マネー・アカウント・マザーファンド）
運用の基本方針に従い、国庫短期証券の購入や現先取引、コール・ローンや金銭信託などを通じて、元本の安全性を重視した運用を行ないました。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

分配金

分配金は、基準価額水準、市況動向などを勘案し、以下のとおりといたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

（単位：円、１万口当たり、税込み）

項　　目	第28期	第29期	第30期	第31期	第32期	第33期
	2016年11月16日～2016年12月15日	2016年12月16日～2017年１月16日	2017年１月17日～2017年２月15日	2017年２月16日～2017年３月15日	2017年３月16日～2017年４月17日	2017年４月18日～2017年５月15日
当期分配金	40	40	40	40	40	40
（対基準価額比率）	0.423%	0.420%	0.418%	0.418%	0.416%	0.410%
当期の収益	40	40	40	40	40	40
当期の収益以外	－	－	－	－	－	－
翌期繰越分配対象額	176	179	183	184	188	218

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。
（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

（当ファンド）

引き続き、「ヨーロピアン・ストラテジック・コーポレート・ボンド・ファンド クラスＡ」受益証券を原則として高位に組み入れ、「マネー・アカウント・マザーファンド」受益証券への投資を抑制する方針です。

（ヨーロピアン・ストラテジック・コーポレート・ボンド・ファンド クラスＡ）

過去６ヵ月の欧州社債市場は、米国新大統領の想定外の勝利による影響を考慮しても比較的安定していました。欧州経済のファンダメンタルズ（経済の基礎的条件）は、ユーロ圏の成長軌道をしっかりと下支えしています。政治的なイベントや選挙が信用スプレッドに悪影響を与えうる主要材料としてしばしば言及されてきましたが、これらのリスクは後退しているように見受けられ、今後数ヵ月の間に市場を混乱させるような材料はほとんど見当たらないとみています。フランスの大統領選挙は事前予想に沿ったものとなり市場はこの結果を好感していますが、2017年３月のオランダの選挙がポジティブな結果であったこともある程度影響しています。

今後も注視が必要と思われる問題の１つに最近の原油価格の下落があります。下落の程度や期間によってはインフレに影響を与える可能性があり、結果的にＥＣＢのＱＥ（量的緩和）プログラムに影響をもたらすかもしれません。ただし、この展開には長い時間が掛かるとみています。また、地政学的な緊張は局面によっては大きく再燃し、ある程度のリスク回避傾向を引き起こす可能性があります。北朝鮮情勢などがその一例です。

需給面では、信用スプレッドへのリスクとなりうる主な要因の１つとしてＥＣＢがＱＥにおける債券購入額を一段と削減することが考えられますが、現時点ではこれが実施される可能性はかなり低いと考えています。

当ファンドにおいては総じて質も利回りも高いＢＢ格の銘柄を中心に投資していますが、この投資を継続する方針です。これらの銘柄にはバリュエーション（価格評価）で見て総じてまだ割高感がないためです。今後も、潤沢なフリーキャッシュフローを創出することができる優れた企業が発行した債券への投資機会を見出していく方針です。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

（マネー・アカウント・マザーファンド）

引き続き、安定した収益の確保をめざして安定運用を行なう方針です。主要投資対象は、わが国の国債および格付の高い公社債とし、それらの現先取引なども活用する方針です。また、コール・ローンや金銭信託などに投資することもあります。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申しあげます。

○１万口当たりの費用明細

（2016年11月16日～2017年５月15日）

項目	第28期～第33期 金額	第28期～第33期 比率	項目の概要
	円	%	
(a) 信託報酬	47	0.498	(a)信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
（投信会社）	(8)	(0.080)	委託した資金の運用の対価
（販売会社）	(38)	(0.402)	運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価
（受託会社）	(2)	(0.016)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用	5	0.050	(b)その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
（監査費用）	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（印刷費用）	(5)	(0.048)	印刷費用は、法定開示資料の印刷に係る費用
（その他）	(0)	(0.000)	その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合計	52	0.548	
作成期間の平均基準価額は、9,531円です。			

（注）作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
（注）各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
（注）その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
（注）各比率は１万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第３位未満は四捨五入してあります。
（注）この他にファンドが投資対象とする投資先においても信託報酬等が発生する場合もあります。

○売買及び取引の状況

（2016年11月16日～2017年５月15日）

投資信託証券

銘柄		第28期～第33期 買付 口数	第28期～第33期 買付 金額	第28期～第33期 売付 口数	第28期～第33期 売付 金額
		千口	千円	千口	千円
国内	ﾖｰﾛﾋﾟｱﾝ・ｽﾄﾗﾃｼﾞｯｸ・ｺｰﾎﾟﾚｰﾄ・ﾎﾞﾝﾄﾞ・ﾌｧﾝﾄﾞ ｸﾗｽA	67,637	64,052	573,585	542,790

（注）金額は受け渡し代金。

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	第28期～第33期			
	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
マネー・アカウント・マザーファンド	48	48	530	532

○利害関係人との取引状況等

（2016年11月16日～2017年５月15日）

利害関係人との取引状況

＜欧州社債ファンド Aコース（為替ヘッジあり）＞

区分	第28期～第33期					
	買付額等 A	うち利害関係人との取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害関係人との取引状況D	D/C
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
投資信託証券	64	64	100.0	542	542	100.0
金銭信託	10	10	100.0	10	10	100.0

＜マネー・アカウント・マザーファンド＞

区分	第28期～第33期					
	買付額等 A	うち利害関係人との取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害関係人との取引状況D	D/C
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
金銭信託	357	357	100.0	357	357	100.0

平均保有割合　0.1%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当ファンドの親投資信託所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三井住友信託銀行株式会社です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況（2016年11月16日～2017年５月15日）

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

（2016年11月16日～2017年５月15日）

該当事項はございません。

○組入資産の明細

（2017年５月15日現在）

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘柄	第27期末	第33期末		
	口数	口数	評価額	比率
	千口	千口	千円	%
ヨーロピアン・ストラテジック・コーポレート・ボンド・ファンド クラスA	866,242	360,294	349,629	97.0
合計	866,242	360,294	349,629	97.0

（注）比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

親投資信託残高

銘柄	第27期末	第33期末	
	口数	口数	評価額
	千口	千口	千円
マネー・アカウント・マザーファンド	839	357	359

（注）親投資信託の2017年５月15日現在の受益権総口数は、556,234千口です。

○投資信託財産の構成

（2017年５月15日現在）

項目	第33期末	
	評価額	比率
	千円	%
投資信託受益証券	349,629	95.1
マネー・アカウント・マザーファンド	359	0.1
コール・ローン等、その他	17,661	4.8
投資信託財産総額	367,649	100.0

（注）比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項目	第28期末	第29期末	第30期末	第31期末	第32期末	第33期末
	2016年12月15日現在	2017年１月16日現在	2017年２月15日現在	2017年３月15日現在	2017年４月17日現在	2017年５月15日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	825,637,981	560,217,028	492,292,605	464,013,328	406,710,841	367,649,802
コール・ローン等	30,102,291	20,655,368	19,046,690	45,746,034	18,820,935	17,658,054
投資信託受益証券(評価額)	794,719,289	528,781,415	469,992,466	410,800,936	387,490,969	349,629,735
マネー・アカウント・マザーファンド(評価額)	814,500	550,732	485,684	426,883	398,937	359,059
未収入金	1,901	10,229,513	2,767,765	7,039,475	－	2,954
(B) 負債	6,581,955	9,252,989	5,019,286	37,666,961	7,328,648	7,274,464
未払金	－	－	－	－	4,680,580	－
未払収益分配金	3,476,334	2,325,606	2,047,129	1,790,359	1,667,759	1,483,487
未払解約金	1,972,800	5,881,902	2,012,711	34,927,817	－	4,861,720
未払信託報酬	673,450	536,282	412,068	367,024	364,248	286,590
未払利息	27	22	15	42	21	17
その他未払費用	459,344	509,177	547,363	581,719	616,040	642,650
(C) 純資産総額(A－B)	819,056,026	550,964,039	487,273,319	426,346,367	399,382,193	360,375,338
元本	869,083,533	581,401,644	511,782,400	447,589,828	416,939,988	370,871,961
次期繰越損益金	△ 50,027,507	△ 30,437,605	△ 24,509,081	△ 21,243,461	△ 17,557,795	△ 10,496,623
(D) 受益権総口数	869,083,533口	581,401,644口	511,782,400口	447,589,828口	416,939,988口	370,871,961口
１万口当たり基準価額(C／D)	9,424円	9,476円	9,521円	9,525円	9,579円	9,717円

(注) 当ファンドの第28期首元本額は891,613,990円、第28～33期中追加設定元本額は76,965,662円、第28～33期中一部解約元本額は597,707,691円です。
(注) １口当たり純資産額は、第28期0.9424円、第29期0.9476円、第30期0.9521円、第31期0.9525円、第32期0.9579円、第33期0.9717円です。
(注) 2017年５月15日現在、純資産総額は元本額を下回っており、その差額は10,496,623円です。

○損益の状況

項目	第28期	第29期	第30期	第31期	第32期	第33期
	2016年11月16日～2016年12月15日	2016年12月16日～2017年１月16日	2017年１月17日～2017年２月15日	2017年２月16日～2017年３月15日	2017年３月16日～2017年４月17日	2017年４月18日～2017年５月15日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	**4,224,426**	**2,826,702**	**2,486,452**	**2,195,037**	**1,975,525**	**1,802,953**
受取配当金	4,225,344	2,828,501	2,487,226	2,195,499	1,976,122	1,803,711
受取利息	－	3	5	6	1	－
支払利息	△ 918	△ 1,802	△ 779	△ 468	△ 598	△ 758
(B) 有価証券売買損益	**4,484,161**	**3,057,113**	**2,277,059**	**165,223**	**2,179,920**	**5,070,875**
売買益	4,499,743	3,530,607	2,381,393	431,676	2,336,097	5,299,776
売買損	△ 15,582	△ 473,494	△ 104,334	△ 266,453	△ 156,177	△ 228,901
(C) 信託報酬等	**△ 740,476**	**△ 589,654**	**△ 453,072**	**△ 403,540**	**△ 400,491**	**△ 315,139**
(D) 当期損益金（A＋B＋C）	**7,968,111**	**5,294,161**	**4,310,439**	**1,956,720**	**3,754,954**	**6,558,689**
(E) 前期繰越損益金	**△25,117,785**	**△13,577,989**	**△ 9,050,828**	**△ 5,887,756**	**△ 4,990,400**	**△ 2,548,129**
(F) 追加信託差損益金	**△29,401,499**	**△19,828,171**	**△17,721,563**	**△15,522,066**	**△14,654,590**	**△13,023,696**
（配当等相当額）	（ 12,560,231）	（ 8,432,053）	（ 7,477,290）	（ 6,554,272）	（ 6,247,371）	（ 5,576,047）
（売買損益相当額）	（△41,961,730）	（△28,260,224）	（△25,198,853）	（△22,076,338）	（△20,901,961）	（△18,599,743）
(G) 計（D＋E＋F）	**△46,551,173**	**△28,111,999**	**△22,461,952**	**△19,453,102**	**△15,890,036**	**△ 9,013,136**
(H) 収益分配金	**△ 3,476,334**	**△ 2,325,606**	**△ 2,047,129**	**△ 1,790,359**	**△ 1,667,759**	**△ 1,483,487**
次期繰越損益金（G＋H）	**△50,027,507**	**△30,437,605**	**△24,509,081**	**△21,243,461**	**△17,557,795**	**△10,496,623**
追加信託差損益金	△29,401,499	△19,828,171	△17,721,563	△15,522,066	△14,654,590	△13,023,696
（配当等相当額）	（ 12,560,231）	（ 8,432,053）	（ 7,477,290）	（ 6,554,272）	（ 6,247,371）	（ 5,576,047）
（売買損益相当額）	（△41,961,730）	（△28,260,224）	（△25,198,853）	（△22,076,338）	（△20,901,961）	（△18,599,743）
分配準備積立金	2,741,369	2,022,442	1,928,140	1,701,925	1,601,843	2,527,073
繰越損益金	△23,367,377	△12,631,876	△ 8,715,658	△ 7,423,320	△ 4,505,048	－

（注）損益の状況の中で**(B)有価証券売買損益**は各期末の評価換えによるものを含みます。
（注）損益の状況の中で**(C)信託報酬等**には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
（注）損益の状況の中で**(F)追加信託差損益金**とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
（注）分配金の計算過程（2016年11月16日～2017年５月15日）は以下の通りです。

項目	2016年11月16日～2016年12月15日	2016年12月16日～2017年１月16日	2017年１月17日～2017年２月15日	2017年２月16日～2017年３月15日	2017年３月16日～2017年４月17日	2017年４月18日～2017年５月15日
a. 配当等収益(経費控除後)	3,865,201円	2,543,420円	2,249,939円	1,819,739円	1,785,125円	1,720,281円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	0円	0円	0円	0円	0円	884,350円
c. 信託約款に定める収益調整金	12,560,231円	8,432,053円	7,477,290円	6,554,272円	6,247,371円	5,576,047円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	2,352,502円	1,804,628円	1,725,330円	1,672,545円	1,484,477円	1,405,929円
e. 分配対象収益(a＋b＋c＋d)	18,777,934円	12,780,101円	11,452,559円	10,046,556円	9,516,973円	9,586,607円
f. 分配対象収益(１万口当たり)	216円	219円	223円	224円	228円	258円
g. 分配金	3,476,334円	2,325,606円	2,047,129円	1,790,359円	1,667,759円	1,483,487円
h. 分配金(１万口当たり)	40円	40円	40円	40円	40円	40円

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上し処理しています。

○分配金のお知らせ

	第28期	第29期	第30期	第31期	第32期	第33期
１万口当たり分配金（税込み）	40円	40円	40円	40円	40円	40円

○お知らせ

約款変更について

2016年11月16日から2017年５月15日までの期間に実施いたしました約款変更はございません。

当ファンドの主要投資対象先の直近の運用状況について、法令および諸規則に基づき、次ページ以降にご報告申しあげます。

種類・項目	ヨーロピアン・ストラテジック・コーポレート・ボンド・ファンド クラスA ケイマン籍円建外国投資信託
運用の基本方針	
基本方針	利子収入の獲得および信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行ないます。
主な投資対象	欧州企業が発行する社債を主要投資対象とします。
投資方針	・欧州企業が発行する欧州通貨建ての社債(ハイ・イールド社債を含みます。)を主要投資対象とします。 ・ポートフォリオのリスクヘッジ、デュレーション調整、通貨配分調整ならびに流動性調整等のためにデリバティブ取引を活用することがあります。 ・外貨建資産については、為替変動リスクの低減を図るため、原則として対円での為替ヘッジを行ないます。
主な投資制限	・有価証券の空売りは行ないません。 ・流動性の乏しい資産への投資は、ファンドの純資産総額の15%以下とします。
収益分配	原則として、毎月９日(休日の場合は翌営業日)に分配を行ないます。 なお、管理会社の判断により収益分配を行なわないことがあります。
ファンドに係る費用	
信託報酬など	純資産総額に対して年率0.64% (国内における消費税等相当額はかかりません。)
申込手数料	ありません。
信託財産留保額	ありません。
その他の費用など	事務管理費用、資産の保管費用、有価証券売買時の売買委託手数料、設立に係る費用、法律顧問費用、監査費用、信託財産に関する租税など。
その他	
投資顧問会社	日興アセットマネジメント ヨーロッパ リミテッド
管理会社	日興ＡＭグローバル・ケイマン・リミテッド
信託期間	2163年３月26日まで
決算日	原則として、毎年12月末日

◎投資有価証券明細表

ヨーロピアン・ストラテジック・コーポレート・ボンド・ファンド

2015年12月31日

社債	保有額面	公正価値（米ドル）	純資産価額に占める割合%
フランス			
Financiere Gaillon 7% 30-Sep-19	500,000	560,461	1.91
Loxam Sas 7% 23-Jul-22	600,000	667,903	2.28
Spcm S.A. 2.875% 15-Jun-23	250,000	260,657	0.89
Valeo 3.25% 22-Jan-24	300,000	366,520	1.25
フランス合計（取得原価：US$1,959,839）		1,855,541	6.33
ドイツ			
HSE Netz AG 6.125% 23-Apr-41	650,000	859,026	2.93
Nordt Landbk 6% 29-Jun-20	200,000	246,816	0.84
Unitymda Hessen 6.25% 15-Jan-29	500,000	594,893	2.03
ドイツ合計（取得原価：US$2,048,463）		1,700,735	5.80
アイルランド			
Bank of Ireland 10% 19-Dec-22	250,000	363,814	1.24
アイルランド合計（取得原価：US$412,537）		363,814	1.24
イタリア			
Astaldi 7.125% 01-Dec-20	350,000	377,674	1.29
Telecom Italia 5.875% 19-May-23	250,000	397,687	1.36
イタリア合計（取得原価：US$911,443）		775,361	2.65
ジャージー			
AA Bond Co 5.5% 31-Jul-22	500,000	704,199	2.40
ジャージー合計（取得原価：US$763,939）		704,199	2.40
ルクセンブルク			
Altice Financing 5.25% 15-Feb-23	350,000	379,488	1.29
Convatec Healthcare 10.875% 15-Dec-18	200,000	223,726	0.76
Intralot Fin Lux 9.75% 15-Aug-18	450,000	509,031	1.74
Monitchem 3 5.25% 15-Jun-21	500,000	541,602	1.85
ルクセンブルク合計（取得原価：US$1,808,157）		1,653,847	5.64
オランダ			
EDP Finance 8.625% 04-Jan-24	300,000	572,859	1.95
オランダ合計（取得原価：US$602,663）		572,859	1.95

社債（続き）	保有額面	公正価値（米ドル）	純資産価額に占める割合%
スウェーデン			
Ovako AB 6.5% 01-Jun-19	240,000	185,965	0.63
Unilabs Subholdings 8.5% 15-Jul-18	200,000	225,810	0.77
スウェーデン合計（取得原価： US$572, 107）		411,775	1.40
英国			
Bakkavor Finance 2 8.75% 15-Jun-20	400,000	642,568	2.19
Daily Mail Gen TST 10% 09-Apr-21	350,000	672,308	2.30
Debenhams 5.25% 15-Jul-21	700,000	1,031,076	3.52
Firstgroup 8.75% 08-Apr-21	300,000	549,315	1.87
HSBC 6.5% 07-Jul-23	325,000	559,372	1.91
Investec Bank 9.625% 17-Feb-22	300,000	532,047	1.82
Jaguar Land Rover 5% 15-Feb-22	250,000	381,951	1.30
Kelda Finance 5.75% 17-Feb-20	300,000	468,532	1.60
Marks and Spencer 6.125% 06-Dec-21	250,000	428,703	1.46
Moy Park 6.25% 29-May-21	360,000	543,313	1.85
Pendragon 6.875% 01-May-20	400,000	617,055	2.11
Scottish Widows 7% 16-Jun-43	250,000	429,274	1.46
Segro Plc 7% 14-Mar-22	120,000	218,263	0.76
Southern Water 8.5% 15-Apr-19	400,000	668,971	2.28
Thomas Cook Finance 7.75% 15-Jun-20	300,000	340,499	1.16
Twinkle Pizza Holdings 6.625% 01-Aug-21	250,000	379,124	1.29
Virgin Media 6.25% 28-Mar-29	470,000	697,851	2.38
英国合計（取得原価： US$9, 907, 650）		9,160,222	31.26
社債合計（取得原価： US$18, 986, 798）		**17,198,353**	**58.67**
変動利付債			
オーストリア			
Wienerberger FRN Perp	600,000	661,617	2.26
オーストリア合計（取得原価： US$682, 416）		661,617	2.26

変動利付債（続き）	保有額面	公正価値（米ドル）	純資産価額に占める割合%
デンマーク			
Dong Energy FRN 26-Jun-3013	350,000	411,555	1.40
デンマーク合計（取得原価：US$478,168）		411,555	1.40
フランス			
Casino Guichard FRN Perp	200,000	195,252	0.67
CNP Assurances FRN 30-Sep-41	200,000	330,777	1.13
Credit Agricole FRN Perp	350,000	391,998	1.34
Orange FRN Perp	650,000	705,714	2.40
Societe Generale FRN Perp	300,000	400,660	1.37
フランス合計（取得原価：US$2,360,536）		2,024,401	6.91
ドイツ			
Allianz SE FRN 17-Oct-42	500,000	636,912	2.17
Munich RE FRN 26-May-42	400,000	530,399	1.81
ドイツ合計（取得原価：US$1,372,369）		1,167,311	3.98
ルクセンブルク			
Talanx Fin FRN 15-Jun-42	300,000	412,273	1.41
ルクセンブルク合計（取得原価：US$493,086）		412,273	1.41
オランダ			
Telefonica FRN Perp	500,000	546,355	1.86
オランダ合計（取得原価：US$695,481）		546,355	1.86
ノルウェー			
Storebrand Livsforsikring FRN 04-Apr-43	450,000	553,746	1.89
ノルウェー合計（取得原価：US$641,432）		553,746	1.89

変動利付債（続き）	保有額面	公正価値（米ドル）	純資産価額に占める割合%
英国			
Aviva FRN 05-Jul-43	450,000	573,980	1.96
Barclays Bank FRN Perp	200,000	382,693	1.30
BUPA Finance FRN Perp	400,000	631,888	2.16
Liverpool Victoria FRN 22-May-43	500,000	729,457	2.49
Lloyds TSB Bank FRN Perp B	375,000	959,620	3.28
Rexam FRN 29-Jun-67	400,000	437,411	1.49
Santander UK FRN 30-Oct-23	250,000	434,476	1.48
Standard Chart Bank FRN Perp	200,000	288,503	0.98
英国合計（取得原価：US$5,013,682）		4,438,028	15.14
変動利付債総額（取得原価：US$11,737,170）		**10,215,286**	**34.85**
債券合計		**27,413,639**	**93.52**
為替先渡契約		**248,958**	**0.85**
純金融資産総額		**27,662,597**	**94.37**
その他純資産		**1,649,605**	**5.63**
純資産合計		**29,312,202**	**100.00**

外国為替先渡契約

2015年12月31日時点において、シリーズ・トラストは保管会社との間で次の為替先渡契約を保有していた。

契約額 買い／(売り)	通貨	満期	米ドル未収額／(未払額) (米ドル)	外貨未収額／(未払額) (米ドル)	未実現利益／(損失) (米ドル)
(3,265,950)	英ポンド	2016年１月８日	4,923,338	(4,844,509)	78,829
(2,085,742)	英ポンド	2016年１月８日	3,139,792	(3,093,861)	45,931
4,641,761	ユーロ	2016年１月８日	(4,923,338)	5,066,927	143,589
535,026	ユーロ	2016年１月８日	(580,472)	584,032	3,560
(179,000)	ユーロ	2016年１月８日	196,120	(195,396)	724
1,104,892,398	日本円	2016年１月８日	(8,997,219)	9,165,692	168,473
		為替先渡契約に係る未実現利益：			**441,106**
131,269	英ポンド	2016年１月８日	(196,120)	194,717	(1,403)
101,798	英ポンド	2016年１月８日	(153,910)	151,001	(2,909)
(5,526,509)	ユーロ	2016年１月８日	5,857,427	(6,032,714)	(175,287)
(90,040,000)	日本円	2016年１月８日	734,382	(746,931)	(12,549)
		為替先渡契約に係る未実現（損失）：			**(192,148)**

上記の為替先渡契約はすべてクラスＡ日本円ヘッジ付受益証券に関連するものである。上記の為替先渡契約は当期を通して保有していた為替先渡契約の代表的なものである。

シリーズ・トラストは、その取り組むデリバティブ商品やヘッジ活動についての情報開示に関し、FASB会計基準編纂書に記される権威あるガイダンスを採用している。このガイダンスはデリバティブおよびヘッジ活動についての高度な開示を必要とし、それによって財務報告の透明性を高めている。このガイダンスの目的は、なぜ、どのようにデリバティブ商品が使われているか、デリバティブ商品や関連したヘッジがどのように会計処理されているか、そしてデリバティブ商品や関連したヘッジが財務状況や業績、キャッシュフローに関係するとすればどのような影響を与えているかについて、財務諸表のユーザーに対し理解を深めるための目安を示すことである。このガイダンスを採用することで、資産負債計算書、損益計算書あるいは純資産変動計算書には何らの影響もなかった。シリーズ・トラストはいかなるデリバティブ商品もこのガイドの示すところのヘッジ商品として指定していない。

シリーズ・トラストの為替先渡契約に対する投資は主なリスク・エクスポージャーが為替リスクであるクラスのヘッジが主な目的である。

デリバティブ商品とヘッジ活動

次の表は2015年12月31日までの期間に係る損益計算書に含まれる、デリバティブに係る純利益（損失）を示す。

	実現利益／(損失) (米ドル)	純未実現利益／ (損失)の変動 (米ドル)	合計 (米ドル)
為替先渡契約	(894,428)	248,958	(645,470)

◎資産負債計算書

ヨーロピアン・ストラテジック・コーポレート・ボンド・ファンド

	2015年12月31日 (米ドル)
資産	
投資、公正価値（取得原価：US$30,723,968）	27,413,639
外貨（取得原価：US$369,440）	369,893
為替先渡契約に係る未実現利益	441,106
未収利息	696,708
売却受益権からの未収金	771,913
その他資産	8,741
資産合計	**29,702,000**
負債	
為替先渡契約に係る未実現損失	192,148
未払運用報酬	753
受益証券買戻しに係る未払金	123,141
その他未払手数料	73,756
負債合計	**389,798**
純資産	**29,312,202**
受益証券１口当たり純資産－クラスＡ日本円ヘッジ付受益証券 （純資産総額1,026,010,618円と発行済受益証券1,088,782,688口に基づく）	JPY0.9423
受益証券１口当たり純資産－クラスＢ日本円受益証券 （純資産総額2,508,161,546円と発行済受益証券2,689,791,577口に基づく）	JPY0.9325

◎損益計算書

ヨーロピアン・ストラテジック・コーポレート・ボンド・ファンド

2014年８月19日（運用開始）から2015年12月31日までの期間
（米ドル）

投資収益	
受取利子	2,995,482
投資収益合計	2,995,482
費用	
支払利子	1,286
受託者報酬	8,629
運用報酬	17,258
投資運用報酬	316,403
管理報酬	25,888
保管報酬	48,904
専門家報酬	50,289
その他費用	5,024
ファンドに係る総費用	473,681
投資純利益	**2,521,801**
純実現損失および未実現損失の変動額	
投資および通貨に係る純実現損失	(3,821,080)
為替先渡契約に係る純実現損失	(894,428)
投資および通貨に係る未実現評価損の純変動額	(3,327,059)
為替先渡契約に係る未実現評価益の純変動額	248,958
純実現損失および未実現損失の変動額	**(7,793,609)**
運用による純資産の純減少額	**(5,271,808)**

◎純資産変動計算書

ヨーロピアン・ストラテジック・コーポレート・ボンド・ファンド

2014年８月19日（運用開始）から2015年12月31日までの期間
（米ドル）

運用による純資産の純減少額	
投資純利益	2,521,801
投資および通貨に係る純実現損失	(3,821,080)
為替先渡契約に係る純実現損失	(894,428)
投資および通貨に係る未実現評価損の純変動額	(3,327,059)
為替先渡契約に係る未実現評価益の純変動額	248,958
運用による純資産の純減少額	(5,271,808)
資本取引より	
受益証券発行	
クラスＡ日本円ヘッジ付受益証券の発行（2,865,548,028口）	24,784,530
クラスＢ日本円受益証券の発行（6,189,245,208口）	56,872,332
受益証券買戻し	
クラスＡ日本円ヘッジ付受益証券の買戻し（1,776,765,340口）	(14,310,414)
クラスＢ日本円受益証券の買戻し（3,499,453,631口）	(29,339,644)
分配	
クラスＡ日本円受益証券からの分配金	(935,351)
クラスＢ日本円受益証券からの分配金	(2,487,443)
資本取引から生じる純資産の純増加額	34,584,010
純資産の純増加額	29,312,202
純資産	
期首	－
期末	**29,312,202**

マネー・アカウント・マザーファンド

運 用 報 告 書

第７期（決算日　2016年10月12日）
（2015年10月14日～2016年10月12日）

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信　託　期　間	2009年10月30日から原則無期限です。
運　用　方　針	公社債への投資により、安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。
主 要 運 用 対 象	わが国の国債および格付の高い公社債を主要投資対象とします。
組　入　制　限	株式への投資は行ないません。 外貨建資産への投資は行ないません。

フ　ァ　ン　ド　概　要

主として、わが国の国債および格付の高い公社債に投資を行ない、利息等収益の確保をめざして運用を行ないます。
ただし、市況動向に急激な変化が生じたとき、ならびに残存信託期間、残存元本が運用に支障をきたす水準となったときなどやむを得ない事情が発生した場合には、上記のような運用ができない場合があります。

日興アセットマネジメント

＜636843＞

【運用報告書の表記について】
・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○最近５期の運用実績

決算期	基準価額		債券組入比率	純資産総額
		期中騰落率		
	円	%	%	百万円
３期(2012年10月12日)	10,027	0.1	78.6	699
４期(2013年10月15日)	10,035	0.1	88.6	778
５期(2014年10月14日)	10,042	0.1	60.8	707
６期(2015年10月13日)	10,043	0.0	62.9	620
７期(2016年10月12日)	10,042	△0.0	－	483

(注) ファンドの商品性格に適合する適切なベンチマークおよび参考指数はございません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		債券組入比率
		騰落率	
(期　首)	円	%	%
2015年10月13日	10,043	－	62.9
10月末	10,044	0.0	67.6
11月末	10,044	0.0	63.3
12月末	10,044	0.0	65.3
2016年１月末	10,044	0.0	65.7
２月末	10,044	0.0	72.8
３月末	10,044	0.0	67.6
４月末	10,044	0.0	－
５月末	10,043	0.0	－
６月末	10,043	0.0	－
７月末	10,043	0.0	－
８月末	10,043	0.0	－
９月末	10,042	△0.0	－
(期　末)			
2016年10月12日	10,042	△0.0	－

(注) 騰落率は期首比です。

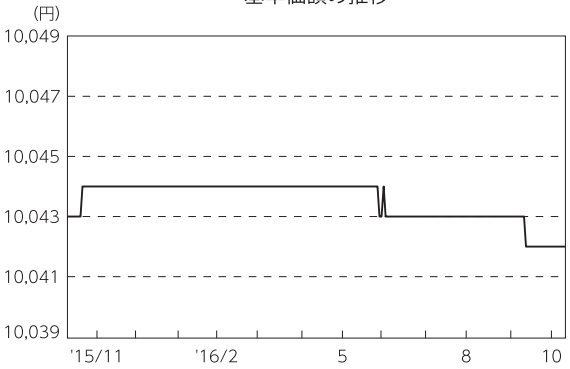
○運用経過

（2015年10月14日～2016年10月12日）

基準価額の推移

期間の初め10,043円の基準価額は、期間末に10,042円となり、騰落率は△0.0%となりました。

基準価額の推移



期　首	期中高値	期中安値	期　末
2015/10/13	2015/10/22	2016/09/12	2016/10/12
10,043円	10,044円	10,042円	10,042円

基準価額の変動要因

期間中、基準価額に影響した主な要因は以下の通りです。

＜値上がり要因＞
・利息収入などを得たこと。

＜値下がり要因＞
・無担保コール翌日物金利がマイナス圏で推移したこと。

（国内短期金利市況）

無担保コール翌日物金利は、期間の初めから2016年２月前半までは、概ね0.05～0.09%の範囲で安定的に推移しました。２月後半以降は、日銀によるマイナス金利の導入開始などを受けて低下し、－0.03%近辺で期間末を迎えました。

国庫短期証券（ＴＢ）３ヵ月物金利は、期間の初めの０%近辺から、日銀による国債買入れの継続や追加の金融緩和観測などを受けて低下が進み、－0.31%近辺で期間末を迎えました。

ポートフォリオ

運用の基本方針に従い、国庫短期証券の購入や現先取引、コール・ローンや金銭信託などを通じて、元本の安全性を重視した運用を行ないました。

○今後の運用方針

引き続き、安定した収益の確保をめざして安定運用を行なう方針です。主要投資対象は原則として、わが国の国債および格付の高い公社債とし、それらの現先取引なども活用する方針です。また、コール・ローンや金銭信託などに投資することもあります。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

○１万口当たりの費用明細

（2015年10月14日～2016年10月12日）

項目	当期 金額	当期 比率	項目の概要
	円	%	
(a) その他費用	0	0.000	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（その他）	(0)	(0.000)	その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合計	0	0.000	
期中の平均基準価額は、10,043円です。			

（注）各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
（注）各比率は１万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第３位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

（2015年10月14日～2016年10月12日）

公社債

		買付額	売付額
		千円	千円
国内	国債証券	3,051,625	2,311,628
			(1,130,000)

（注）金額は受け渡し代金。（経過利子分は含まれておりません。）
（注）（ ）内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。
（注）債券現先を含めています。

○利害関係人との取引状況等

（2015年10月14日～2016年10月12日）

利害関係人との取引状況

区分	買付額等 A	うち利害関係人との取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害関係人との取引状況D	D/C
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
金銭信託	6,022	6,022	100.0	6,022	6,022	100.0

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三井住友信託銀行株式会社です。

○組入資産の明細

(2016年10月12日現在)

2016年10月12日現在、有価証券等の組入れはございません。

○投資信託財産の構成

(2016年10月12日現在)

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
コール・ローン等、その他	484,532	100.0
投資信託財産総額	484,532	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

（2016年10月12日現在）

項目	当期末
	円
(A) 資産	484,532,285
コール・ローン等	484,532,285
(B) 負債	1,508,661
未払解約金	1,508,236
未払利息	425
(C) 純資産総額(A－B)	483,023,624
元本	480,993,642
次期繰越損益金	2,029,982
(D) 受益権総口数	480,993,642口
1万口当たり基準価額(C／D)	10,042円

（注）当ファンドの期首元本額は617,609,609円、期中追加設定元本額は297,706,739円、期中一部解約元本額は434,322,706円です。

（注）2016年10月12日現在の元本の内訳は以下の通りです。

・資源株ファンド通貨選択シリーズ<ブラジルレアル・コース>（毎月分配型）	61,656,805円	・アジア・ハイイールド債券ファンド（為替ヘッジなし）	766,040円
・中華圏株式ファンド（毎月分配型）	60,490,846円	・USハイインカム・ストラテジー・ファンド（毎月分配型）為替ヘッジなし	748,136円
・エマージング・プラス（マネープールファンド）	41,242,762円	・世界標準債券ファンド（１年決算型）	723,698円
・アジア社債ファンド Bコース（為替ヘッジなし）	39,127,773円	・世界の高配当株式ファンド（通貨選択シリーズ・毎月分配型）ブラジルレアルコース	709,751円
・インデックスファンドMLP（毎月分配型）	37,663,662円	・インデックスファンドMLP・為替ヘッジあり（適格機関投資家向け）	593,798円
・アジア・ヘルスケア株式ファンド	36,556,016円	・アジア・ハイイールド債券ファンド（為替ヘッジあり）	525,717円
・エマージング・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（マネープールファンド）	36,148,905円	・資源株ファンド 通貨選択シリーズ<南アフリカランド・コース>（毎月分配型）	443,169円
・世界標準債券ファンド	26,395,547円	・世界のサイフ２（毎月分配型）	401,193円
・エマージング・ハイ・イールド・ボンド・ファンド・ブラジルレアルコース	26,144,472円	・USハイインカム・ストラテジー・ファンド（毎月分配型）為替ヘッジあり	352,186円
・アジア社債ファンド Aコース（為替ヘッジあり）	17,125,049円	・アジアインフラ株ファンド（毎月分配型）インドルピー・コース	338,114円
・エマージング・プラス・成長戦略コース	15,873,379円	・アジアインフラ株ファンド（毎月分配型）インドネシアルピア・コース	239,584円
・ピムコUSハイインカム・ローン・ファンド（毎月分配型）為替ヘッジなし	11,068,946円	・ノーロード・インド株式フォーカス（毎月分配型）	113,740円
・グリーン世銀債ファンド	6,903,139円	・世界の高配当株式ファンド（通貨選択シリーズ・毎月分配型）資源国通貨コース	105,748円
・日興ハイブリッド3分法ファンド毎月分配型（新興国通貨戦略コース）	6,735,212円	・ABグローバル・ハイインカム・オープン（1年決算型）為替ヘッジあり	102,030円
・ＲＳ豪ドル債券ファンド	5,978,333円	・上場インデックスファンド海外新興国株式（MSCIエマージング）	99,902円
・資源株ファンド 通貨選択シリーズ<オーストラリアドル・コース>（毎月分配型）	5,941,746円	・世界の高配当株式ファンド（通貨選択シリーズ・毎月分配型）オーストラリアドルコース	83,734円
・エマージング・プラス・円戦略コース	4,291,213円	・グローバル・ハイブリッド・プレミア（為替ヘッジあり）	70,452円
・資源株ファンド 通貨選択シリーズ<米ドル・コース>（毎月分配型）	3,565,140円	・日興ハイブリッド3分法ファンド毎月分配型（ヘッジなしコース）	69,984円
・インデックスファンドMLP（１年決算型）	3,231,725円	・オーストラリア・インカム株式ファンド（毎月分配型）	67,920円
・高金利成長通貨ファンド（毎月分配型）	2,827,219円	・世界の高配当株式ファンド（通貨選択シリーズ・毎月分配型）ヘッジなしコース	60,028円
・アジアリートファンド（毎月分配型）	2,818,206円	・日興ハイブリッド3分法ファンド毎月分配型（通貨プレミアムコース）	45,596円
・ＳＭＢＣ・日興 世銀債ファンド	2,514,471円	・グローバル・ハイブリッド・プレミア（為替ヘッジなし）	40,174円
・アジアＲＥＩＴオープン（毎月分配型）	2,455,213円	・アジア債券ファンド（毎月分配型）	38,161円
・グローバルＣｏＣｏ債ファンド 円ヘッジコース	1,967,243円	・ABグローバル・ハイインカム・オープン（毎月分配型）為替ヘッジなし	34,825円
・ピムコUSハイインカム・ローン・ファンド（毎月分配型）為替ヘッジあり	1,490,881円	・上場インデックスファンド海外先進国株式（MSCI-KOKUSAI）	19,997円
・グローバルＣｏＣｏ債ファンド 新興国高金利通貨コース	1,471,114円	・上場インデックスファンドNifty50先物（インド株式）	19,983円
・欧州社債ファンド Bコース（為替ヘッジなし）	1,455,837円	・上場インデックスファンド米国株式（S&P500）	19,983円
・日興ハイブリッド3分法ファンド毎月分配型（円ヘッジコース）	1,425,937円	・上場インデックスファンド中国H株（ハンセン中国企業株）	19,983円
・日興グラビティ・ファンド	1,370,174円	・上場インデックスファンド豪州リート（S&P/ASX200 A-REIT）	19,977円
・エマージング・ハイ・イールド・ボンド・ファンド・資源国3通貨コース	1,360,527円	・ABグローバル・ハイインカム・オープン（1年決算型）為替ヘッジなし	16,862円
・グローバルＣｏＣｏ債ファンド 先進国高金利通貨コース	1,072,272円	・ノーロード世界株式トップフォーカス	13,682円
・日興マネー・アカウント・ファンド	1,069,770円	・ノーロード・シンガポール高配当株式フォーカス（毎月分配型）	12,516円
・アジアインフラ株ファンド（毎月分配型）ブラジルレアル・コース	1,062,142円	・上場インデックスファンド新興国債券（バークレイズLocal EM国債）	9,981円
・欧州社債ファンド Aコース（為替ヘッジあり）	998,560円	・上場インデックスファンド米国債券（為替ヘッジあり）	9,958円
・グローバルＣｏＣｏ債ファンド ヘッジなしコース	921,896円	・上場インデックスファンド米国債券（為替ヘッジなし）	9,958円
・日興ＧＳグロース・マーケッツ・ファンド	840,733円	・ABグローバル・ハイインカム・オープン（毎月分配型）為替ヘッジあり	4,287円
・エマージング・ハイ・イールド・ボンド・ファンド・円コース	779,930円		

（注）１口当たり純資産額は1.0042円です。

○損益の状況

(2015年10月14日～2016年10月12日)

項目	当期
	円
(A) 配当等収益	△ 53,652
受取利息	48,057
支払利息	△ 101,709
(B) 有価証券売買損益	244
売買益	244
(C) 保管費用等	△ 2,013
(D) 当期損益金(A＋B＋C)	△ 55,421
(E) 前期繰越損益金	2,682,400
(F) 追加信託差損益金	1,297,094
(G) 解約差損益金	△1,894,091
(H) 計(D＋E＋F＋G)	2,029,982
次期繰越損益金(H)	2,029,982

(注) 損益の状況の中で(B)**有価証券売買損益**は期末の評価換えによるものを含みます。
(注) 損益の状況の中で(F)**追加信託差損益金**とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
(注) 損益の状況の中で(G)**解約差損益金**とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上し処理しています。

○お知らせ

約款変更について

2015年10月14日から2016年10月12日までの期間に実施いたしました約款変更はございません。